



もいまち

議会だより

平成26年(2014年)5月

第59号



写真/「ウキウキ 幼稚園デビュー!!」～天方幼稚園 入園式～

《主な内容》

平成27年3月 天浜線新駅開業に向けて

2P

一般質問

老朽化した歩道の対策 他

8P～10P

に向けて

森町議会は、3月定例会を3日から24日までの会期22日間で開催しました。26年度予算をはじめ、条例や補正予算など、提案された31議案1陳情を審議しました。

また、老朽化した歩道の対策、自転車交通安全対策、森町中心市街地活性化の取組、新行財政改革の進捗状況、森町袋井インター通り線の整備促進、浜岡原発再稼働問題などについて、6人が一般質問をしました。

(8P~10Pに掲載)

平成26年度当初予算

一般会計は、昨年から0.7%増加し、67億3200万円となりました。歳出では、総務費(天浜線新駅設置工事負担金など)が1億2134万9千円(15.2%)、民生費(児童手当、保育園委託費、臨時給付金など)が1億2247万4千円(6.8%)の増となります。歳入では、町税(町民税、固定資産税など)が3951万9千円(1.6%)の増となります。

主な事業

天竜浜名湖鉄道新駅設置事業

森町病院前への新駅設置事業
(1億2917万円)

拠点防災倉庫整備事業

拠点防災倉庫整備に係る実施設計・用地取得(旧森警察署跡地)
(4877万6千円)

内陸フロンティア推進事業

工業用地開発可能性調査、上水道会計操出金、外
(1727万円)

〈当初予算における主な歳入・歳出項目の推移〉

(万円未満四捨五入)

歳入項目	26年度	25年度	24年度	23年度	22年度
町 税	24億8,109万円	24億4,157万円	24億 756万円	23億6,378万円	23億 270万円
地 方 交 付 税	13億3,000万円	13億2,000万円	13億5,000万円	13億4,000万円	12億8,000万円
国 庫 支 出 金	5億2,700万円	5億6,886万円	5億5,652万円	5億4,297万円	4億5,191万円
県 支 出 金	3億8,884万円	4億5,903万円	4億5,449万円	5億5,172万円	4億1,220万円
繰 入 金	3億8,834万円	2億1,187万円	9,787万円	1億4,436万円	8,287万円
町 債(借入金)	7億1,110万円	7億8,350万円	6億9,730万円	6億1,420万円	5億9,890万円

歳出項目	26年度	25年度	24年度	23年度	22年度
民 生 費	19億2,749万円	18億 502万円	17億3,646万円	19億1,136万円	16億8,991万円
衛 生 費	10億1,717万円	10億2,847万円	10億3,061万円	10億9,104万円	10億1,967万円
総 務 費	9億1,780万円	7億9,645万円	7億2,473万円	6億9,388万円	7億3,689万円
教 育 費	7億2,569万円	7億4,394万円	7億6,023万円	7億4,502万円	7億5,459万円
土 木 費	6億4,454万円	8億3,561万円	7億1,335万円	5億2,515万円	3億6,468万円
農 林 水 産 業 費	2億4,024万円	2億5,021万円	2億 690万円	1億5,305万円	1億6,330万円
公債費(借入返済金)	6億2,278万円	6億2,889万円	6億3,505万円	6億4,271万円	6億3,559万円

平成27年3月

天浜線新駅開業



天浜線 新駅設置予定地(森町病院前)

一般会計予算

【反対討論】

消費税増税後の経済や町民の所得、消費動向が来年度の行政運営にも影響を与えかねない。
(西田議員)

天浜線の新駅設置事業について、費用対効果の面から賛成できない。
(鈴木議員)

【賛成討論】

森町の将来に向けて調和のとれた各種施策の推進と合わせて計画策定の予算となっており、期待できる。
(中根議員)

限られた財政の中での効率的な予算編成は、森町の財政の健全・安定的な行政運営の現れである。(伊藤議員)

水道事業会計予算

【反対討論】

最低限の命を担保する水道水に消費税はかけるべきではない。自己水源の維持管理を強化し、災害に対応できる設備体制を図らねばならない。
(西田議員)

【賛成討論】

今後心配される災害に強い水道事業に期待する。また、県企業局との交渉により、水の使用料金の引き下げをしたことを評価する。
(山本議員)

条例

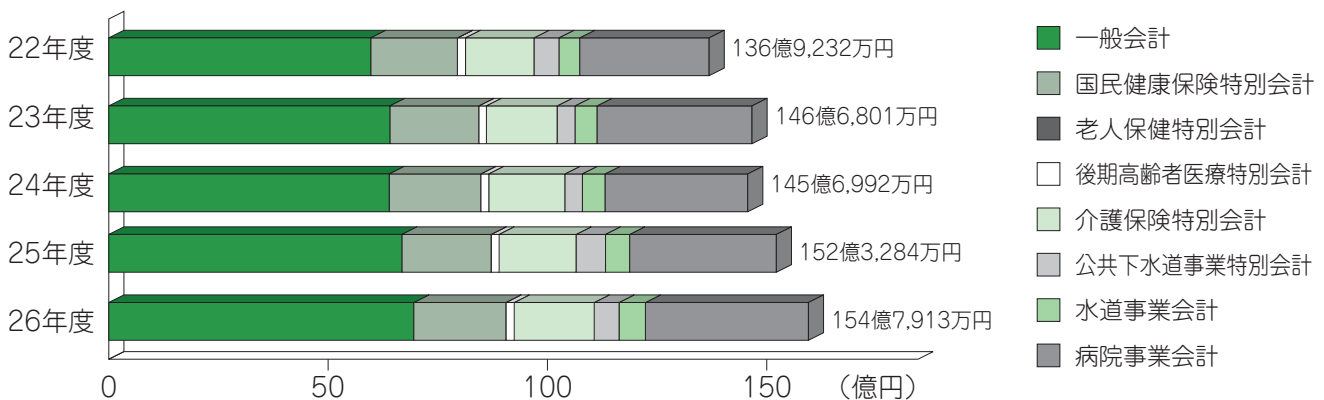
森町非常勤消防団員に係る退職報奨金の支給に関する条例【一部改正】

非常勤消防団員の処遇改善のため、消防団員に係る退職報奨金について、一律5万円、最低支給額20万円に引き上げを行います。

【賛成討論】

消防団のあり方が見直され、防災力の強化に向けた取り組みが進むことを期待する。
(小沢一男議員)

<会計別予算の推移>



第一常任委員会

広島平和式典へ

生徒を派遣

Q 非常勤消防団員の退職報奨金を、団員から団長まで活動実態に対し一律5万円引き上げるが、他市町ではどうか。

A 法律施行令が公布され、4月1日施行されるため改正する。基準を満たしている市町については改正の必要はない。

Q 広島平和記念式典への生徒の派遣はどのような形で行うか。その意義は。

A 平和教育の重要性に鑑みて、小学生2名、中学生2名、引率者2名を派遣する。26年度は森中学校区を予定し、生徒は学校から推薦する。



旧江間邸の蔵(本丁)

第一・第二常任委員会は、3月10日、11日、12日の3日間にわたり、本会議で付託された平成26年度予算などの議案について、審査を行いました。審査の主な質疑を報告します。

近隣市町では磐田市が行っており、報告会も行っている。

提に譲り受けており、秋以降に実施する。

Q 幼稚園での預かり保育は考えているか。近隣市町はどうか。

A 27年度以降に待機児童が出かねない状況にある。預かり保育に関しては袋井市が進んでいるので、研修等しながら緊張感を持って取り組みたい。

Q 介護ボランティアポイント制度とは。

A 登録施設でのボランティアに対しポイントを付与し、次の年度に交付金申請で、ポイント数に応じた年最高5千円までの交付金を支払う。現在登録者は68人である。

Q 大上宮奥線の整備について、今後地形的に厳しくなるが、進捗は。

A 辺地整備の一之瀬大久保線が28年度で終われば、その後の29、30年度は5千万円が大上宮奥線に回せる計画である。31年度以降も枠の中で対応する。

Q 家庭医養成プログラムの国の補助が終わるが、今後どのような形になるか。

A 県が基金を設け、4年間で4億4千万円の補助を受けてきた。

Q 旧江間邸の蔵はどのような価値があるか。

A 蔵は歴史ある家系のものであり文化価値がある。住居等は取り壊しを前

次年度からは県が別の補助事業を組み、2年間の補助がくる。3600万円と額は縮小するが、県は浜松医大に地域家庭医療の寄付講座を設け、特任教授による家庭医療プログラム研修医への指導を行う。

第一常任委員会

Q 天宮土地区画整理の状況は。

A 計画を2年延長して28年度までに事業を完了したい。26年度で街区造成は完了する。保留地は24年度には14区画、25年度には7区画が売れ、残り18区画を販売していく。

Q (二)清掃センター解体の計画は。

A 老朽化した公共施設に係る起債制度及び交付税措置などの制度内容を見ながら、場合によっては26年度の年度途中に解体工事等の補正予算をお願いするかもしれない。



閉鎖した(元)森町清掃センター(向天方)



長寿命化計画により補強する友愛橋(三倉)

Q 橋梁長寿命化修繕工事の内容は。

A 橋梁長寿命化計画に基づき、国の防災・安全交付金を受けて実施する事業で、26年度は三倉小前に架かる友愛橋の橋台補強を行う。

Q 道路ストックの総点検の内容は。

A 道路ストックとは、道路の舗装、橋梁、トンネル、法面、道路付属物として道路照明灯及び道路標識である。避難所に行く道路、天方地区以北では概ね10戸以上の集落へ向かう道路、県道と県道を結ぶ道路を選定基準とし、1級・2級町道5路線、その他5路線を総点検の対象とした。26年度は点検を行い、必要があれば交付金を活用して改修していく。

道路の総点検はじまる!

Q 一宮地区公園整備の内容は。

A 一宮総合センターに隣接する農地を一時転用してゲートボール場としていたが、一時転用を解除して、町が農村公園を整備し、合わせてセンターの駐車場として利用する。

Q アクティ森はお金をかけてリニューアルしたらどうか。

A 行政がお金を掛けるのではなく、収益を出して投資をし、内容を充実させるべきである。24年度は和食から洋食への変更に必要な食器や機器、パーベキューの設備などに利益の中から投資をしている。25年度も利益が出れば設備投資をし、お客さまが満足する施設に改善するように指示している。

Q 遠州水道からの受水量は。

A 日量8500m³が満量であり、今後の基本水量となる。使用料金は、26年度から5年間は1m³当たり12円から11円に減額される。使用量は契約受水量日量の58・8%、5000m³とみている。年間総給水量に占める割合は、24年度の数值で遠州水道61・5%、自己水38・5%である。

補正予算

追加 3億433万8千円
総額 89億5075万3千円

財政調整基金に1億332万4千円、減債基金に1億円、緊急地震対策基金に1000万円、森地区公共施設整備事業基金に300万円を積み立てました。

一般議案

辺地に係る公共施設の総合整備計画

三倉地区区域内町道一ノ瀬大久保線、橘・薄場区域内における町道大上宮奥線の整備について、継続事業分を新たな整備計画として策定するものです。

人事

森町教育委員

亀山銀男氏の辞任に伴い、井口始氏の選任に同意しました。
また、井上啓次郎氏の辞任に伴い、比奈地敏彦氏の選任に同意しました。

陳情

小藪川の水質浄化についての陳情が提出され、全会一致で採択されました。

3月定例会の審議結果

議案名		結果	備考	議案名		結果	備考
人事	森町教育委員会委員の任命	同意	全員賛成	補正予算	平成25年度森町介護保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決	全員賛成
	森町教育委員会委員の任命	同意	全員賛成		平成25年度森町公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	全員賛成
条例	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全員賛成	一般議案	平成25年度森町病院事業会計補正予算(第4号)	原案可決	全員賛成
	森町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全員賛成		辺地に係る公共的施設の総合整備計画策定	原案可決	全員賛成
	森町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	原案可決	全員賛成	東遠学園組合規約の変更	原案可決	全員賛成	
	森町緊急地震対策基金条例の一部を改正する条例	原案可決	全員賛成	当初予算	平成26年度森町一般会計予算	原案可決	反対 西田議員 鈴木議員
	森町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全員賛成		平成26年度森町国民健康保険特別会計予算	原案可決	反対 西田議員
	森町債権の管理に関する条例	原案可決	全員賛成		平成26年度森町後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	反対 西田議員
	森町社会教育委員会設置条例の一部を改正する条例	原案可決	全員賛成		平成26年度森町介護保険特別会計予算	原案可決	反対 西田議員
	森町税外収入金の督促等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全員賛成		平成26年度森町公共下水道事業特別会計予算	原案可決	反対 西田議員
	森町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全員賛成		平成26年度森町大久保簡易水道事業特別会計予算	原案可決	反対 西田議員
	森町介護保険条例の一部を改正する条例	原案可決	全員賛成		平成26年度森町三倉簡易水道事業特別会計予算	原案可決	反対 西田議員
森町道路占用料等徴収条例の一部を改正する条例	原案可決	全員賛成	平成25年度森町大河内簡易水道事業特別会計予算		原案可決	反対 西田議員	
森町下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全員賛成	平成26年度森町水道事業会計予算		原案可決	反対 西田議員	
平成25年度一般会計補正予算(第6号)	原案可決	全員賛成	平成26年度森町病院事業会計予算		原案可決	全員賛成	
補正予算	平成25年度森町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決	全員賛成	陳情	小藪川の水質浄化	採択	全員賛成

25年度一般会計

総額91億円を突破!

1月臨時会

1月臨時会を1月21日に開催し、土地取得について審議しました。全員の賛成で、原案どおり可決しました。

一般議案

森町総合体育館建設用地の取得に関し、静岡県と土地取得の契約を締結します。

2月臨時会

2月臨時会を2月21日に開催し、補正予算や建設工事委託に関する変更契約の締結についてを審議しました。

補正予算

一般会計ほか、計4会計の補正予算を審議しました。
主な内容をお知らせします。

総合体育館建設のための建設工事費及び工事監理業務委託料として、13億6968万7千円。

一般議案

建設工事委託に関する変更契約の締結
遠州森町スマートIC周辺の安全な走行を確保するため、照明設備を増設します。

3月臨時会

3月臨時会を3月31日に開催し、条例の一部改正、補正予算や建設工事請負契約の締結についてを審議しました。

条例

森町立幼稚園保育料徴収条例(一部改正)
幼稚園における第2子の保育料を半額に、第3子以降を無料にします。

補正予算

平成25年度一般会計及び平成26年度一般会計補正予算を審議しました。
平成25年度一般会計は、総合体育館建設のための追加建設事業費として、歳入歳出それぞれ1億9500万円を追加し、91億4575万3千円となりました。

平成26年度一般会計は、幼稚園就園奨励補助金等として、歳入歳出それぞれ40万3千円を追加し、67億3240万3千円となりました。

一般議案

建設工事請負契約の締結
総合体育館建設に伴う、電気設備工事及び機械設備工事を実施します。

3月臨時会の審議結果

	議案名	結果	備考
条例	森町立幼稚園保育料徴収条例の一部を改正する条例	原案可決	全員賛成
補正予算	平成25年度森町一般会計補正予算(第7号)	原案可決	全員賛成
	平成26年度森町一般会計補正予算(第1号)	原案可決	全員賛成
一般議案	建設工事請負契約の締結	原案可決	全員賛成
	建設工事委託に関する変更契約の締結	原案可決	全員賛成

2月臨時会の審議結果

	議案名	結果	備考
補正予算	平成25年度森町一般会計補正予算(第5号)	原案可決	全員賛成
	平成25年度森町介護保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決	全員賛成
	平成25年度森町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	全員賛成
	平成25年度森町病院事業会計補正予算(第3号)	原案可決	全員賛成
一般議案	建設工事委託に関する変更契約の締結	原案可決	全員賛成



老朽化し、ひび割れた歩道と空いた植樹ます

問 遠江総合高校付近の歩道は、老朽化による歩道路面の高低差(でこぼこ)が著しく、街路樹の倒木、空いた植樹ますの増加により、景観上の問題と歩行者に対しての危険性が危惧されており、早急な対応策が課題となっている。

交通弱者に配慮した、誰もが安全・安心・快適に移動できる「※ユニバーサルデザインの歩道空間」の構築を提案するが、町長の考えを伺う。



伊藤 和子

老朽化した歩道の対策 安心・安全な歩道確保を

町長 金與食堂から遠江総合高校正門前の区間は、今年中に公共下水道事業による路面の舗装復旧が終わる。

その区間を対象に、老朽化が進んでいる歩道の舗装の打ち替え、空いた植樹ますの撤去、車両乗り入れ部のスロープ勾配の緩和、波打ち歩道の改善等を9月の補正予算で対応していく。

「ユニバーサルデザインの歩道空間の構築」については、当町の条例に基づき対応する。

今後、新設・改良を計画している、森町袋井インター通り線や新田赤松線などの道路については、周辺の状況に応じて、歩行者・自転車の通行・走行空間の確保に努めていく。

※ユニバーサルデザイン

高齢者・障害者等を含むすべての人に安全・安心で、車いす利用者、ベビーカー、押し車等も安心して通行できる歩道のこと。

町政を問う ～一般質問～



スケアード・ストレイト 衝突事故再現の様子

問 恐怖感を実感することで、危険行為を未然に防ぎ交通ルールを守ることを体感させる「※スケアード・ストレイト」自転車安全教室の開催について伺う。

町長 「スケアード・ストレイト」には高額な費用がかかるため、袋井警察署と連携し、交通安全教室の回数を増やし充実させ、交通ルールの遵守・自転車交通マナーの向上を図っていく。



小沢 一男

自転車交通安全対策の 充実・強化を願う

自転車保険への加入啓発を

問 道路交通法が改正され、路側帯の右側を自転車で行くと、懲役や罰金が科せられるようになった。

近年、自転車事故の高額賠償判決が相次いでいる。自転車では歩行者等にけがを負わせた際に補償される「自転車保険」の加入を促す、自転車安全利用条例制定の考えについて伺う。

町長 自転車事故防止の啓発は必要。まず、今後全世帯に啓発パンフレットを配布し、自転車保険加入の促進に努めていく。

その他の質問

- ・防災対策について
- ・不妊治療の人工授精費用補助について

※スケアード・ストレイト

スタントマンが事故現場を再現することで、事故の危険さや交通ルールの大切さを学ぶ手法のこと。



吉 筋 恵 治

小京都まちづくりと 森町中心街の活性化は

問 小京都まちづくりを進める上で町長が持つ基本構想に、「人口を2万人に戻す」、「自主財源を40億・45億にする」など、具体的な数値目標があるか伺う。

町長 皆さんの衆知を結集するため、遠州の小京都まちづくり推進会議及び作業部会も設立し、調査検討を進めている。26年度には住民アンケートも予定している。

数値については、人口・自主財源その他数値目標はないが、自主財源40億円は数年後に達成すると考えている。

問 遠州の小京都まちづくり推進会議では、中心市街地への議論はあるか。また、町並みと蔵展等各種団体の意見も聞くよと思うが、町長の意見を伺う。

産業課長 小京都まちづくり推進会議及び作業部会で、計7回会議を実施したが、視察研修及び調査の段階であり、中心街のことは今後基本構



午後2時の森町中心街

想等を踏まえた中で、方向性が出てくるものと考えている。

町長 提案については、基本案がまとまった段階で各種団体の意見も頂き、最終的なものとするプロセスがよいと思う。

町政を問う ～一般質問～



太 田 康 雄

行財政改革の 進捗状況は

問 26年度町政運営の所信の中で、「新行財政改革プランに基づき、たゆまない改革を進める」と述べている。今年度の進捗状況はどうか。

町長 プランの41項目中、一部実施を含むと40項目を実施、97・5%の実施率となる見込みである。

今年度の主な取組は、森町紹介PR映像作成やホームページのリニューアル、町長と語る会の実施、電気使用量の削減、公共施設マネジメントの必要性に対する共通認識、地域防災計画の見直しや防災力向上などである。

問 行財政改革の結果、職員が少なくなり、一人一人のレベルアップが求められる。今後の行財政改革プランについての考えは。

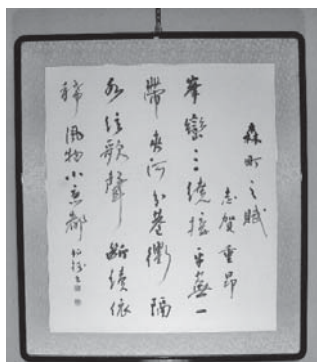
町長 人を育てる、能力を發揮させるといふ視点も大事と思う。今までの職員を約25%削減してきたが、業務量や新たな課題が増え、予算も増え、人をさらに減らしてやっていけない

というところ、そろそろ限界にきていると思う。ある程度人材を揃えて立ち向かう行政組織も必要と思うので、それらも含めて26年度に検討したい。

書道コンクールで小京都の推進を

問 志賀重昂氏の「森町之賦」を題材に書道コンクールを実施すれば、「森町之賦」への理解が深まる。また、書の大家を輩出した森町の文化的風土の継承につながるが、考えは。

町長 今後実施に向け、前向きに検討したい。また京都在住の杭迫柏樹先生にもご協力をお願いし、京都とのつながりも再確認していきたい。



杭迫柏樹氏「森町之賦」書



中根 幸男

森町袋井インター 通り線の整備促進

問 森町袋井インター通り線は、森掛川ICと袋井IC等を結ぶ、大変重要な都市計画道路で、早期整備に向け地元地域からも要望が出されている。都市計画変更等の手続きがどこまで進められたか。また、地元要望度の高い田代から谷中駐在所に至る約1.2km区間の事業着手時期について伺う。

町長 現在、4車線から2車線への変更区間の内、森地内の約4kmについては、概略設計を実行し、県や警察など関係機関と協議を行っている。

また、田代から谷中駐在所に至る区間については、早期事業化に向け「事業着手準備制度」を活用し、県と地域住民との合意形成がスムーズに図られるよう、地元や関係機関との協議調整を進め、平成27年度末までに県の都市計画審議会において都市計画決定していたたくよう進めて参りたい。

高齢者はり・きゅう・マッサージ治療費助成制度の見直し

問 高齢者はり・きゅう・マッサージ治療費助成制度については、要綱制定以来19年が経過した。要綱制度を見直して治療院の拡大がでないか伺う。

町長 利用者の利便性向上のため、平成26年度から「あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律」の規定により免許を受けた者で、保健所に届け出を行い森町の町内に開設し、町へ承諾書を提出した治療院で利用できるようにして参りたい。



県道山梨一宮線(谷中駐在所付近)

町政を問う ～一般質問～



西田 彰

浜岡原発の再稼働問題に しつこく考えは

問 浜岡原発再稼働問題は「首長」の意志が大きく左右する。再稼働を認めない決断を。

町長 国のエネルギー政策の一環で、国の方針も踏まえた上で検討すべき。まずは緊急時防護措置準備区域(UPZ)内にある7市町が中部電力と安全協定を結ぶことに意味がある。今後、協定内容について他県の例も参考にしながら、事務レベル、首

長レベルで詰めていきたい。とらえ方に市町間で温度差があることから、7市町が一致できるレベルを見いだすことが重要と考える。

アクティ森の抜本的改革を

問 体験の里アクティ森は開業から24年目を迎える。時代の流れの中で体験施設が今後とも盛んにはならない。施設の老朽化も進む中、抜本的改革が必要では。

町長 オープン当初5年間ほどは、年間100万人が入場する賑わいを見せたが、バブルの崩壊等社会情勢も変化し、お客様の価値観も変わり苦戦をしている。

指定管理制度で委託しており、現在、毎月誘客に向けた各種イベントを展開しているが、営業形態からしてトップシーズンとオフシーズンがあり、トップシーズンで稼いで「その金」でオフシーズンは休業しないでやりくりをする方針が必要と考える。



全国原発の状況(環境防災Nネットホームページより)

最終更新時刻 2014年04月16日 09時10分
最新空稼働対数値率一覧

道庁別	最大値
北海道	36nGy/h
青森県	48nGy/h
宮城県	90nGy/h
福島県	12440nGy/h
茨城県	90nGy/h
神奈川県	48nGy/h
新潟県	41nGy/h
石川県・富山県	58nGy/h
福井県・岐阜県	78nGy/h
滋賀県・京都府	55nGy/h
静岡県	56nGy/h
大分県	55nGy/h
島根県・鳥取県	50nGy/h
岡山県・広島県	61nGy/h
愛媛県・山口県	66nGy/h
佐賀県・福岡県	48nGy/h
長崎県	48nGy/h
鹿児島県	44nGy/h

全議員による 第3回

議会報告会 を開催します



町民の皆さまに、町議会をより身近に感じていただけるよう、下記のとおり議会報告会を開催します。

普段なかなか知ることのできない町の事業について、議員がわかりやすく説明します。

また、皆さまからの議会に対するご意見もお伺いしたいと思います。

どなたでも参加できますので、ご都合の良い会場までお出かけください。(申込みは必要ありません)

	開催日	時間	会場
園田	5月17日(土)	19:30~	園田総合センター
三倉	5月24日(土)	19:30~	三倉総合センター
天方	5月30日(金)	19:30~	天方生活改善センター
飯田	6月4日(水)	19:30~	飯田総合センター
森	6月6日(金)	19:30~	森町文化会館(小ホール)
一宮	6月7日(土)	19:30~	一宮総合センター



最近の議論

- ・ 内陸フロンティアの取組
- ・ 防災対策・議会対応
- ・ 総合体育館の建設
- ・ 天浜線の新駅設置
- ・ 天方小学校の複式学級

研究会では、森町議会議員が町内各地区の議会報告会で示された問題・課題等について議論します。議会全体としての考えをまとめたり、議員個々の考えを深めるために、毎月行っている研究会です。

行財政問題課題研究会

「町政を議論し考える」

特集

第2回

議会報告会 Q & A

森町議会では、議会をより身近に感じていただくため、平成25年5月中旬から6月上旬にかけて、森町6地区において議会報告会を開催しました。

皆さまから頂いた貴重なご意見の一部については、議会として町長に提言し、昨年11月には中間報告をいたしました。

今回1年間の総括として、議会報告会で頂いたご意見・ご質問について、Q & A方式で報告させていただきます。

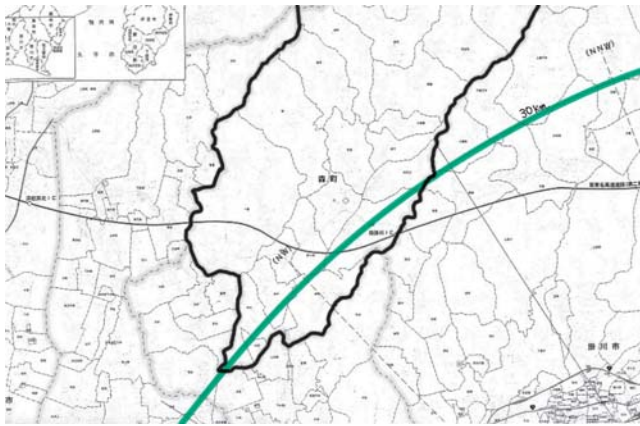
園田地区

新東名・スマートIC周辺の発展

問 地震・津波の關係で内陸地の工業団地の価値が上がってきている。

工業団地化やスマートICを利用した将来的な発展、地元で若い人が働けるよつな工業関連の事業は。

答 森掛川IC・遠州森町スマートIC周辺は、「内陸フロンティアを開く取組」の中で特区の指定を受け、それぞれの地区で土地利用構想を検討している。本年度は将来の企業進出を見据え、開発にかかる費用を調査する。



原発から30km圏内である緊急時防護措置準備区域 (UPZ)

原子力災害対策

問 原発から30km圏内の範囲(UPZ)を国が定めたが、町としてどのように避難させるか。伝達手段はどのようなか。

答 原発から30km圏内の住民は、基本的に家の中に待避する屋内待避となる。伝達方法については、広報車及び同報無線により住民にお知らせする。また、町内会長へ直接電話で連絡を行う。

三倉地区

保安林整備事業

問 三倉地域は全地域が保安林となっている。奥地保安林整備事業を5年ほど実施した。

次の段階として、国の方で保安林内の居住地域整備事業が予定されたら前向きにお願いしたい。

答 今年度も県の奥地保安林緊急整備事業で調査伐を実施する予定。

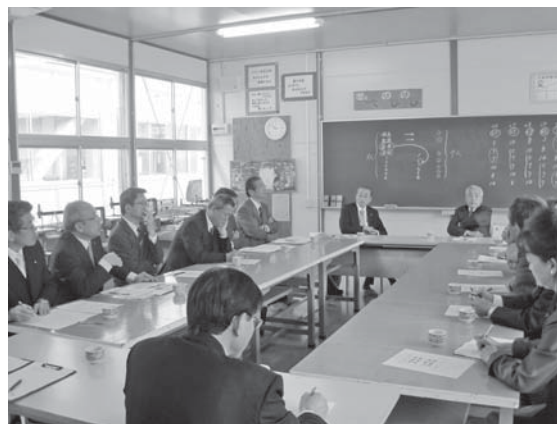
居住地域整備事業については、治山事業では事業そのものがないので、今後の国の動向を見て、関連する事業があれば検討したい。

天方地区

工場跡地等の有効活用

問 名古屋金型等の工場跡地等の有効利用ということで、引き合いがあるならば是非ここへ来るよつお願いしてほしい。

答 工業立地用遊休地情報を町・県のホームページに掲載し、情報提供に努めている。



天方小学校 複式学級模擬授業見学後の勉強会

天方小学校複式学級化

問 26年度から天方小が複式学級となる。子供が極端に少ない弊害が起きている状況である。町としての対応は。

コミュニケーション、体験学習を通じて人間の成長につながると思うが、充実を図っていただけけるか。

答 三倉小に続き、森小との交流学習を企画する。学力の向上、また担任の負担軽減のため学習支援員を配置する。

一宮地区

内陸フロンティアと町の将来ビジョン
 内陸フロンティア構想がどうなるのか解らない。森町の将来に対するビジョンを検討してもらいたい。

答 新東名インター等の供用開始を受け、「内陸のフロンティアを拓く取組」の中で特区の指定を受けており、町の発展につなげていきたいと考えている。町のそれぞれの区域について、土地利用構想を検討している。

町の将来ビジョンは、第8次総合計画や都市計画マスタープランに基づき、また、時期の総合計画策定時に検討していきたい。



小國神社周辺の渋滞

明神通りの渋滞対策

問 新東名が開通してから、観光バス、乗用車が非常に多くなり、明神通りの渋滞が以前にも増してひどくなった。小國神社に行く道は限られており、道路整備が何より優先されるべきだと思つ。小國神社を参拝してよかつたと思えるような道路整備をお願いしたい。

答 明神通りは県道宮代赤根線で、県の管理道になる。現在、歩道整備を含めた道路拡幅工事が行われている。

小國神社では、渋滞対策の一環として車200台分の駐車場を設置した。また、初詣の時期などは地元の人が自宅から出られない、自宅に戻れないといった状況があるため、対策として迂回路を整備する。

飯田地区

県道の整備と安全確保

問 渋滞対策や飯田小学校周辺・山名神社周辺の歩道部分の安全確保など、県道の整備が非常に遅れていると思う。国・県の予算を確保して、安全な道路にしてほしい。

答 袋井春野線については、袋井土木事務所に歩道の整備を含め、道路改良の要望をしている。



飯田城跡の城址碑 やまうちつしまのかみどう び 「山内対馬守道美公飯田城址」

森町の「城」の見学コースを

問 森町には戦国時代以前から19もの山城があり、中でも代表的なものに飯田城、天方城、眞田城、米倉城がある。将来この4城を静かに見学できる歴史的な見学コースができればと思う。

答 近年、「城」が脚光を浴び、城や城跡を訪れる見学者が増加している。元来、山城は防御のため険しい山に造られており、登山道も険しくなっている。また、個人の所有地が多いため、地権者の理解が得られれば、必要に応じて慎重に整備を進めていきたい。

森地区

町営バス運行状況の再検証を

問 町営バスが平成20年から運行されるようになったが、町民の足、観光の用途に全く役に立っていないと思う。バスの運行状況を再検証し、町民の足、観光に役立つよう検討をしていただきたい。

答 新東名やスマートICの供用開始など、人や物の流れを十分に検証する中で、また、教育・福祉・観光などを総合的に検討する中で、総合交通体系の調査研究について、関係者を交えて話し合っていくきたい。

「遠州の小京都」の方向性は

問 「遠州の小京都」について、議会としての見解はどのようなものか。地元の見解を拾い上げ、一つの方向性を持って行くことが大事だと思う。

答 森町が遠州の小京都をいかしたまちづくりを進めることには議会も一致している。さらに、各議員が自らの考えを一般質問等で当局に提案している。今後も町民の意見を伺いながら、議会内で議論を深めていきたい。

みんなのこえ

町の情報をお伝えします

なすなの会



視力に障害を持つ方に、活字を音声化して聞いていただく会です。

私たちが現在音声訳に携わっているのは、広報もりまち、回覧物、議会だより、そして会員たちが任意で作成する「なすな通信」です。

録音するに当たり、誤読がないよう人名は問い合わせ、難読文字は辞書で、アクセントもアクセント辞典で調べ、細心の心構えでテープに録音しています。

また、すでにテープ化

CD化されて届く県民だより、県議会だより等も利用していただく方にコピーして発送します。

毎週金曜日に集まり、2班に分かれて、テープの発送や返却の帳簿への記入、返却の確認作業等を行います。他に、CD利用者の方へテープからCDへ変換する作業も行っております。

会員も利用してくださる方も減少しています。ともに新加入をお待ちしています。

代表	加藤 すゞ子
会場	保健福祉センター 2階・ポランティ アビュロー
日時	毎週金曜日 13時半～15時半
会員	9名

議会を聴きにきませんか

町議会は町の予算や身近な問題について話し合う大切な会議です。

あなたも議会を傍聴してみませんか？

- 手続きは住所・氏名・年齢を書いていた
ただけです。(定員数28名)
- お問い合わせ先…議会事務局
電話 0538-85-6329

<6月定例会の予定>

6月 5日(木) 本会議 初日
 6月11日(水) 本会議 2日目
 6月12日(木) 常任委員会
 6月26日(木) 本会議 最終日

※会議の開始時間は午前9時30分です。
 ※日程が変更される場合もありますのでご了承ください。

あの 一般質問

どうなっただいやあ～

【平成24年8月定例会】

Q 現中央体育館は、老朽化も進み耐震性に問題がある。

地震対策と社会体育の振興を図るために、中央体育館の建て替えを検討してはどうか。

A 平成26年2月議会臨時会、及び3月議会臨時会にて、体育館建設のための補正予算を可決しました。

また、3月議会臨時会、及び4月議会臨時会にて体育館建設の契約締結についての議案が可決しました。
新体育館は、旧周智高校跡地に平成27年3月の完成予定となります。

ひとこと

私は、いつも人に恵まれて生きてきました。

私の陶芸の師・神山易久は、月に一度弟子に作品を作らせました。しかし、私が何度作っても、師は見た瞬間にそれを壊しました。

一年ほど過ぎた頃、たまりかねて「なぜ壊すのか」と師に訪ねました。すると、師は「これは何か」と私に尋ねました。

私が花器と答えると、「これは器ではない。器とは内側だ。水も花も内側に入る。お前のものは外側に比べ内側に気が入っていない。」と叱られました。

あの時から36年が過ぎましたが、今でもその言葉は私の中に鮮明に残っております。

(K・よ・ご・ご)

議会だより編集委員会

議長	神原 淑友
委員長	片岡 健
副委員長	中根 幸男
委員	吉筋 恵治
委員	小澤 哲夫
委員	伊藤 和子